

光村図書「書Ⅲ」 年間指導計画資料

38 | 光村 | 書Ⅲ | 703

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
4月	6	巻頭			
		書論とは [教科書表 2-P. 1]	B(鑑賞)(1) ア(ア)(イ) イ(イ)(ウ)	① 鑑賞の切り口として、先人の書論が重要な要素となることを知る。 ② 書論を読み、先人の説く鑑賞の新しい視点を知る。	(1)・書の歴史と書論について理解を深める。 (2)・書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・書論を通して芸術科書道の学習に関心をもち、主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組む。
		1 漢字の書			
		漢字の書の多様性を楽しむ [教科書 P. 4-5]	B(鑑賞)(1) ア(ア) イ(ア) 共通ア・イ	① 「崔子玉座右銘断簡」を鑑賞し、大字の草書で俯仰法を用いた気迫のある線質から生まれる表現美を捉える。	(1)・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 (2)・書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組む。
		1 篆書			
		散氏盤 天発神識碑 [教科書 P. 6-7]	A(表現)(2) ア・イ・ウ B(鑑賞)(1) ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) 共通ア・イ	① 「散氏盤」を鑑賞し、独特な文字のねじれや傾きを生かした表現を捉える。 ② 「天発神識碑」の角張った転折や背勢に絞込む曲線、鋭く切り込む起筆、とがりのある収筆から生まれる表現美を捉える。 ③ 用具・筆順、字形の特徴を理解し臨書する。 ④ 古典から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、作品の美を構成する要素について話し合う。	※教科書 P. 6-9 (1)・篆書を構成する様々な要素について理解を深める。 ・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 ・書の伝統を踏まえ、篆書の特色を生かして創造的に表現する技能を身につける。 (2)・篆書の古典の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求する。
		中山王サク方壺 篆書崔子玉座右銘四屏 [教科書 P. 8-9]		① 「中山王サク方壺」の重心が高く、しなやかで、装飾的な文字の表現美を捉える。 ② 「篆書崔子玉座右銘四屏」の縦長で重心を高くする字の構え、縦に伸びる線の中程を細めにする事で足長に見せる繊細で優雅な表現美を捉える。 ③ 用具・筆順、字形の特徴を理解し臨書する。 ④ 古典から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、作品の美を構成する要素について話し合う。	・篆書の古典の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・主体的に漢字の書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組む。

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
5 月	6	2 隷書			
		礼器碑 銀雀山漢簡 敦煌漢簡 [教科書 P. 10-11]	A(表現)(2) ア・イ・ウ B(鑑賞)(1) ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) 共通ア・イ	①「礼器碑」の均整のとれた造形と細身で鋭い波磔による高い品格の表現美を捉える。 ②「銀雀山漢簡」のやや右上がりやで懷が広く、突くような起筆と息の長い線による安定感のある表現美を捉える。 ③「敦煌漢簡」の扁平で勢いのある左右の払いによる表情豊かな表現美を捉える。 ④ 用具・筆順、字形の特徴を理解し臨書する。 ⑤ 古典から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、作品の美を構成する要素について話し合う。	※教科書 P. 10-15 (1)・隷書を構成する様々な要素について理解を深める。 ・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 ・書の伝統を踏まえ、隷書の特色を生かして創造的に表現する技能を身につける。 (2)・隷書の古典の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求する。 ・隷書の古典の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・主体的に漢字の書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組む。
6 月	9	張遷碑 開通褒斜道刻石 隷書崔子玉座右銘 隷書七言聯 題昔邪之廬壁上 [教科書 P. 12-15]		①「張遷碑」の方形に収めたような字形、直線的で点画に抑揚をつけず重量感のある表現美を捉える。 ②「開通褒斜道刻石」の大らかな表現美を捉える。 ③「隷書崔子玉座右銘」の漢代の隷書を基調とした字形、点画に筆圧が十分行き渡る粘り強い表現美を捉える。 ④「隷書七言聯」の漢代の隷書の骨格を基調としながら運筆に微動を与え、かつ点画を強調させ、対聯として対比も配慮した表現美を捉える。 ⑤「題昔邪之廬壁上」の極端な太細をつけた線と長い左払いによる奇抜な表現美を捉える。 ⑥ 用具・筆順、字形の特徴を理解し臨書する。 ⑦ 古典から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、作品の美を構成する要素について話し合う。	
		3 行書・草書			
6 月	9	喪乱帖 [教科書 P. 16-17]	A(表現)(2) ア・イ・ウ B(鑑賞)(1) ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) 共通ア・イ	①「喪乱帖」を鑑賞し、しっかりとした文字の構造と温和な表現美を捉える。 ② 用具・筆順、字形の特徴を理解し臨書する。 ③ 古典から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、作品の美を構成する要素について話し合う。	※教科書 P. 16-21 (1)・行書・草書を構成する様々な要素について理解を深める。 ・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 ・書の伝統を踏まえ、行書・草書の特色を生かして創造的に表現する技

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
		草書諸上座帖巻 李嶠雜詠 伊都内親王願文 〔教科書 P. 18-19〕		①「草書諸上座帖巻」の狂草の特徴である構成上の落差、激しい筆の動き、太細の変化など、動的な表現美を捉える。 ②「李嶠雜詠」の欧陽詢の書風に影響を受けた引き締まった字形、厳しい線質による行書の表現美を捉える。 ③「伊都内親王願文」の側筆と直筆を駆使し、抑揚を利かせた運筆による表現美を捉える。 ④ 用具・筆順、字形の特徴を理解し臨書する。 ⑤ 古典から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、作品の美を構成する要素について話し合う。	能を身につける。 (2)・行書・草書の古典の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求する。 ・行書・草書の古典の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・主体的に漢字の書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組む。
		長条幅を味わう（張瑞図、黄道周、王鐸、倪元璐、傅山） 〔教科書 P. 20-21〕		① 張瑞図の直線的で力強い運筆、左右へ思い切りのよい広がりを見せる字形、切り込むような点画からの緊張感など、リズムカルで歯切れのよい独創的な表現美を捉える。 ② 黄道周の息が長く自然な連綿、誇張のない墨の使い方、左下に向かう字形や斜めに引く筆画、そして右肩部の強調などの表現美を捉える。 ③ 王鐸の王羲之の柔軟さと顔真卿の重厚さを融合させた書法、覇気のある筆線と思い切った字形による表現美を捉える。 ④ 倪元璐の重心を上げて台形をイメージした字形、字間や点画の疎密などを配慮した伸びやかな線質による表現美を捉える。 ⑤ 傅山の変幻自在な運筆、気力が充実した表現美を捉える。	
		4 楷書			
		玄秘塔碑 楷書前後出師表巻 鄭長猷造像記 〔教科書 P. 22-23〕	A(表現)(2) ア・イ・ウ B(鑑賞)(1) ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) 共通ア・イ	①「玄秘塔碑」の強く鋭い運筆、細く骨ばった点画、やや長方形の字形などの端正な表現美を捉える。 ②「楷書前後出師表巻」の扁平で向勢の字形、鋭い起筆とゆったりとした右払いによる温和な表現美を捉える。 ③「鄭長猷造像記」の素朴で飄々とした異彩を放つ表現美を捉える。 ④ 用具・筆順、字形の特徴を理解し臨書する。 ⑤ 古典から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、作品の美を構成する要素について話し合う。	(1)・楷書を構成する様々な要素について理解を深める。 ・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 ・書の伝統を踏まえ、楷書の特徴を生かして創造的に表現する技能を身につける。 (2)・楷書の古典の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求する。 ・楷書の古典の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・主体的に漢字の書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組む。

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
7月	6	5 創作する			
		漢字の書作品を味わう 〔教科書 P. 24-25〕	A(表現)(2) ア・イ・ウ B(鑑賞)(1) ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) 共通ア・イ	① 近現代の作品を鑑賞して、「線質、余白や空間性、表現・構成の効果」「筆者が表現しようとする美と、それを支えている要素」などをグループで話し合う。	(1)・漢字の書を構成する様々な要素について理解を深める。 ・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 ・書の伝統を踏まえ、書体の特色を生かして創造的に表現する技能を身につける。
		漢文を書こう 〔教科書 P. 26-27〕		① 国語で学んだ漢文の中から気に入った漢文を選ぶ。 ② これまでに学んだ古典を参考にして書体や書風・紙面構成を考える。 ③ 用具・筆順、字形の特徴を理解し創作する。	(2)・漢字の書の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求する。 ・漢字の古典の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。
		〔コラム〕書論の背景 王羲之 〔教科書 P. 28〕		① 書論にまつわる王羲之の逸話を読み、書論の重要性を理解する。	(3)・主体的に漢字の書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組む。
9月	9	2 仮名の書			
		仮名の書の多様性を楽しむ 〔教科書 P. 30-31〕	B(鑑賞)(1) ア(ア) イ(ア) 共通ア・イ	① 「本阿弥切本古今和歌集」を鑑賞して、筆線の優雅さや大胆な構成、書き手の感性や表現美を捉える。	(1)・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 (2)・仮名の書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組む。
		1 平安時代中・後期			
		字体の違いを捉えよう 秋萩帖 升色紙 〔教科書 P. 32-33〕	A(表現)(3) ア・イ・ウ B(鑑賞)(1) ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) 共通ア・イ	① 「秋萩帖」を鑑賞し、ゆったりとした丁寧な運筆や墨の潤渇を生かした紙面構成の表現美を捉える。 ② 「升色紙」の細い筆線と、行頭の位置や行間の変化による豊かな表現美を捉える。 ③ 用具・筆順、字形の特徴を理解し臨書する。 ④ 古典から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、作品の美を構成する要素について話し合う。	(1)・仮名の書を構成する様々な要素について理解を深める。 ・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 ・書の伝統を踏まえ、仮名の書の特色を生かして創造的に表現する技能を身につける。 (2)・仮名の書の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
		桂宮本万葉集 十五番歌合 卷子本古今和歌集 〔教科書 P. 34-35〕 書風の個性を捉えよう 曼殊院本古今和歌集 一条摂政集 〔教科書 P. 36-37〕		①「桂宮本万葉集」の強い筆力と側筆を生かした表現美を捉える。 ②「十五番歌合」の草仮名を主体としたゆったりとした表現美を捉える。 ③「卷子本古今和歌集」の一貫した連綿の表現美を捉える。 ④ 用具・筆順、字形の特徴を理解し臨書する。 ⑤ 古典から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、作品の美を構成する要素について話し合う。 ①「曼殊院本古今和歌集」の力強さの中にある優美で伸びやかな表現美を捉える。 ②「一条摂政集」の滑らかで息の長い連綿による表現美を捉える。 ③ 用具・筆順、字形の特徴を理解し臨書する。 ④ 古典から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、作品の美を構成する要素について話し合う。	表現を追求する。 ・仮名の書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・主体的に仮名の書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組む。
10 月	9	〔コラム〕藤原家 能書の系譜 〔教科書 P. 38-39〕		① 藤原行成の確立した和様が、受け継がれていく中でそれぞれ個性ある表現美になっていく様子を捉える。 ②「藍紙本万葉集」の歯切れのよい力強さの中にある優雅さを捉える。 ③「本願寺本三十六人家集」の側筆による温かな表現美を捉える。 ④「石山切貫之集下」の力強く大胆で張りのある筆線による表現美を捉える。 ⑤ 用具・筆順、字形の特徴を理解し臨書する。 ⑥ 古典から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、作品の美を構成する要素について話し合う。	
2 鎌倉時代以降					
		際立つ個性を楽しもう 更級日記 源氏物語抄 和歌一首 〔教科書 P. 40-41〕	A(表現)(3) ア・イ・ウ B(鑑賞)(1) ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) 共通ア・イ	①「更級日記」の定家独特の太細を生かした表現美を捉える。 ②「源氏物語抄」の滑らかな連綿による表現美を捉える。 ③「和歌一首」の飄々とした脱俗の表現美を捉える。 ④ 用具・筆順、字形の特徴を理解し臨書する。 ⑤ 古典から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、作品の美を構成する要素について話し合う。	(1)・仮名の書を構成する様々な要素について理解を深める。 ・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 ・書の伝統を踏まえ、仮名の書の特色を生かして創造的に表現する技能を身につける。 (2)・仮名の書の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求する。 ・仮名の書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・主体的に仮名の書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組む。

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
		3 創作する			
		仮名の書作品を味わう 〔教科書 P. 42-43〕	A(表現)(3) ア・イ・ウ B(鑑賞)(1) ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ)	① 近現代の作品を鑑賞して、「線質、余白や空間性、表現・構成の効果」「筆者が表現しようとする美と、それを支えている要素」などをグループで話し合う。	(1)・仮名の書を構成する様々な要素について理解を深める。 ・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 ・書の伝統を踏まえ、仮名の書の特徴を生かして創造的に表現する技能を身につける。 (2)・仮名の書の表現形式に応じた、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求する。 ・仮名の書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・主体的に仮名の書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組む。
		古今和歌集を書こう 〔教科書 P. 44-45〕	共通ア・イ	① 古今和歌集の中から気に入った和歌を選ぶ。 ② これまでに学んだ古典を参考にして書体や書風・紙面構成を考える。 ③ 用具・筆順・字形の特徴を理解し創作する。	
		【コラム】書論の背景 松花堂昭乗 〔教科書 P. 46〕		① 書論にまつわる松花堂昭乗の逸話を読み、松花堂昭乗の用具へのこだわりを理解する。	
11 月	9	3 漢字仮名交じりの書			
		漢字仮名交じりの書を楽しむ 〔教科書 P. 48-49〕	B(鑑賞)(1) ア(ア) イ(ア) 共通ア・イ	① 會津八一の書を鑑賞し、漢字仮名交じりの書の作品から受ける印象や、表現・構成の効果を具体的に分析し、筆者の表現意図、作品の美を構成する要素について話し合う。	(1)・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 (2)・漢字仮名交じりの書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組む。
		漢字仮名交じりの書作品を味わう 〔教科書 P. 50-51〕	A(表現)(1) ア・イ・ウ B(鑑賞)(1) ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) 共通ア・イ	① 金子卓義、青木香流、飯島春敬の書を鑑賞し、言葉に託した思いを効果的な表現へつなげていることを理解する。 ② 好きな言葉を選び、効果的な表現へつなげるための総合的な構想を練る。 ③ 効果的な用具・用材を選ぶ。	
12 月	6	未来への決意を書こう 〔教科書 P. 52-53〕		① 書きたい言葉を考え、効果的な書体や構成を工夫する。 ② 効果的な用具・用材を選び、創作する。	(1)・現代の社会生活に生きる様々な書の表現とその要素について理解を深める。 ・書の伝統を踏まえ、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身につける。 (2)・主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求する。 ・漢字仮名交じりの書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・主体的に漢字仮名交じりの書の創造
		文士の手紙 〔教科書 P. 54-55〕		① 文士の手紙を鑑賞し、筆者の人物像について理解を深めたうえで、実用的な目的で書かれた中にある、書き手の個性や思いを味わう。	

月	時数	単元名・教材名	指導事項	学習活動	目標
		生活の中の書 〔教科書 P. 56〕		① 身の回りの書に目を向け、書が生活の様々な場面で活用されていることを理解する。	的な表現と鑑賞の学習活動に取り組む。
		【コラム】書論を書いてみよう 〔教科書 P. 57〕		① 言葉と表現の響きを味わいながら、書論を題材として作品を制作する。	
1 2 3 月	10	4 篆刻・刻字／書道史			
		篆刻を楽しむ 〔教科書 P. 58-59〕	A(表現) (1)ア・イ・ウ (2)ア・イ・ウ B(鑑賞)(1) ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) 共通ア・イ	① 先人のさまざまな印影を見て、篆刻の世界の広さや美しさを理解する。 ② 先人の印を手本にして、漢印を模刻する。	(1)・篆刻や刻字を構成する様々な要素について理解を深める。 ・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 ・書の伝統を踏まえ、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身につける。
		刻字を楽しむ 〔教科書 P. 60-61〕		① 刻字が、刻し方によって印象が変わることを知り、書表現に加えて、材質や彫り跡、彩色など、多彩な魅力を含んでいることを理解する。	(2)・篆刻や刻字の表現形式に応じて、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求する。 ・書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。
		中国・日本書道史略年表 〔教科書 P. 62-65〕	B(鑑賞)(1) ア(ア) イ(イ)(ウ)	① 書道史を概観し、古典・古筆の歴史的背景を確かめる。	(3)・主体的に篆刻や刻字の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組む。 (1)・線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性、日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わり、書の歴史と書論について理解を深める。 (2)・書の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 (3)・主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組む。